

人文学部欧米文化学科カリキュラム

学科目群は基礎科目群、教養科目群、専門科目群からなっている。

卒業するためには表1のように単位を修得しなければならない。表1の単位数は卒業に必要な最低単位数である。

表1 欧米文化学科

学 科 目 群		卒 業 最 低 必 要 単 位 数					備 考	
		必修	選択必修	選択	小計	自由選択		合計
基 礎 科 目 群	基礎科目	8			26		*1フランス語・ドイツ語・スペイン語・イタリア語の中から、同一言語Ⅰ・Ⅱを4単位選択必修	
	英語科目	8	4					
	第二外国語科目		4 *1					
	スポーツ科目							
	キリスト教関連科目		4					
	キャリア教育科目	1	1					
	地域学							
	サービスラーニング 海外研修							
教 養 科 目 群	人間理解への基盤を学ぶ		} 8 *2		8	39	124	*2 8 単位選択必修
	社会理解への基盤を学ぶ							
	自然理解への基盤を学ぶ							
専 門 科 目 群	共通専門科目	9		28	51			
	欧米文化科目群		10					
	異文化理解科目群							
	思想・表現文化科目群							
	歴史・グローバル世界科目群							
	コミュニケーション科目群							
	言語・英語教育科目群							
	上級科目群							
	関連科目群							
	教職関連科目 演習科目		4					
合 計		26	31	28	85	39	124	

1. 用語の説明

卒業要件＝卒業するために必要な条件

必修＝当該科目の履修が卒業要件となっているもの。

選択必修＝いくつかの授業科目の中から一定単位履修することが卒業要件となっているもの。

選択＝卒業に必要な単位数として数えられるが、「必修」でも「選択必修」でもないもの。

開講期＝春：春学期に開講される科目

秋：秋学期に開講される科目

通年：1年を通じて開講される科目

集中：通常期間外に学外実習をおこなう科目

○印：週1回授業

◎印：週2回授業

対象学年＝科目を履修することができる年次が記されている。1年次生では2年次以上に配当されている科目の履修はできない。2年次生以上は原則として1年次生配当の科目を履修することができる。

人数制限科目＝履修希望者が集中した科目について、人数制限をする。

ステップアップ＝ローマ数字が記載されている科目は、ステップアップ科目と呼び、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に履修しなければならない。

2. 科目ナンバリング

本学では「**科目ナンバリング**」を導入している。

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や履修順序、科目間の連携等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことで、学生が科目の水準や専門性に応じて、適切な授業科目を選択する際の助けとなる。

ナンバリングは「**科目分類(略称)**」、「**学科コード**」、「**段階を表す番号**」の組み合わせで表記される。

<p>(例) ECON-P-100</p>	<p>番号…科目の段階 [100番台：入門, 200番台：中級, 300番台：専門, 400番台：専門上級, 500番台：大学院] (P. 18参照)</p> <p>学科コード…政治経済：P, 欧米文化：A, 日本文化：J, 児童：C, 心理福祉：S, こども心理：D, 人間福祉：W, その他：0</p> <p>科目分類…科目分類の略称 (例) ECON：ECONOMICS (経済学) の略 (P. 17・18参照)</p>
------------------------------	--

科目ナンバリングは、学生要覧カリキュラム表やシラバスに記載されている。

3. 各学期において履修できる単位数は、20単位を目安とし24単位を上限とする。

ただし、認定科目は上限単位に含まれない。

4. 自由選択科目について

卒業に必要な最低単位数124単位から、基礎科目群の最低単位数30単位、教養科目群の最低単位数8単位および専門科目群の最低単位数50単位を除いた36単位を自由選択科目と呼ぶ。これは、基礎科目群、教養科目群、専門科目群、総合科目群、他学部・他学科の専門科目群のいずれから履修してもよい。

5. 以下の科目に関しては、クラスが指定されているので、確認の上履修すること。

キリスト教概論 A・B、基礎教育入門(書き方)・(話し方)、情報基礎、英語科目、第二外国語Ⅱ(留学生科目)、基礎ゼミ A・B